

2024年3月5日（火）八代会場 午後

公述内容（メモ起こし）

中島 康

今日この堰に知事が来ないのは無礼。無責任。県知事が勝手に、球磨川を一般の川に引きずり落とそうとしている。知事が来て話を聞くべき

環境アセスに準ずると言ったので良いことだと思ったが、何のことはない、環境法の縛りを受けない。準ずるだけで自分のペースでやっている。聞くだけで終わらないでほしい

アセスでおかしな点は、穴あきダムを作って影響を及ぼすのは渡までというが、住民討論集会では国交省は川は上から下まで、海までつながると言った。今回は、川辺川ダムを作って濁ったり変化が起きた影響は渡で終わるといのはおかしい。八代も影響する。心配。どういう影響調査をしたから渡までの範囲で良いのかの説明もない。

五木での国交省説明会で質問した。清流日本一というが、清流の定義はなにかと。国交省も県もだまって何も言わず、最後は「人それぞれ違う」と言った。では濁流も清流と言えば清流になる。環境アセスをやろうとやるまいと、濁ったものは濁ったもの、清流は清流。国交省は回答しない。知事に聞いてほしい、知事の定義をどうしているのか。BODとか透明度とかそういう数字があるかと思ったが、どうでもいいのかと感じた

2020年の水害の共同検証を何度も県にいったが、最初は黙っていたが、今はしないと言っている。だから、ここで聞いた意見をどう使ってもらえるのか心配している。こういう会を開いてもう一度ちゃんとみんなの意見を聞いて考える場を作ってほしい。

以上